

学部 / 人間科学領域 / 環境の理解

科目コード : 110302

人間工学 Ergonomics

担当教員	小林 宏光				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	生活・環境・道具				
学習目的・目標	疲労、作業能力、人間-機械系などの人間工学の基礎的な概念を教授し、これらの概念を通じ介護器具、ヒューマンエラー、交代制勤務などの看護現場での諸問題についての理解を深める。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	●人間工学とは？ 人間工学という学問ができた経緯、その扱う領域、また看護学との関係について				
2	●人体寸法 人体寸法と機器・道具との関係				
3	●生体リズム (1) 人間の生理機能の概日周期 (サーカディアンリズム) について				
4	●生体リズム (2) 時差ぼけ、同調作用、交替勤務などについて				
5	●睡眠 (1) 睡眠PSGによる睡眠段階評価方法				
6	●睡眠 (2) 徐波睡眠とREM睡眠、睡眠周期など				
7	●睡眠 (3) 高齢者の睡眠の特徴、運動や生活習慣と睡眠の関係など				
8	●温熱環境 (1) 人間の体温調節機能の基礎について				
9	●温熱環境 (2) 高齢者や乳幼児の体温調節				
10	●温熱環境 (3) 室内空調や被服の温熱的特性について				
11	●温熱環境 (4) 体感温度指標について				
12	●入浴 入浴事故の実態、原因、またその対策など				
13	●道具と人間 (1) モノと人間との関わり、ヒューマンインタフェース設計について				
14	●道具と人間 (2) フルプルーフ設計、フェイルセーフ設計、冗長なシステムの安全性などについて				
15	●総括				
教科書	適宜プリント等を配布				
参考図書等					
評価指標	定期試験100%				
関連科目	生理人類学				
教員から学生へのメッセージ	人間工学は看護学そのものではありませんが、どの項目も看護現場の諸問題と密接に関連した内容です。				